

## 2015年度卒業論文題目一覧

- |        |  |
|--------|--|
| 池田 静香  | 深層心理からみる『忠臣ヨハネス』                                   |
| 岩上 佳奈  | Die Berliner Mauer<br>— ベルリンの壁の実態と東ベルリン<br>市民の悲劇 — |
| 内山 リサ  | ルター聖書における形態論的考察<br>— 名詞を中心にして —                    |
| 数森 綾香  | 魔女狩り<br>— 中世後期から近世におけるイメージの<br>変遷 —                |
| 金澤 千佳  | グリム童話に込められた民族意識                                    |
| 北村 颯汰  | ドイツサッカーによる選手の教育・育成について<br>— 日本サッカーを引き合いに —         |
| 田中 惟央里 | マンガにおけるドイツ語と日本語の違い                                 |
| 谷 樹里奈  | マイスター制度の伝統と現在<br>— 歴史と先端技術の狭間にあるマイスター —            |
| 茶谷 加奈  | 白雪姫のテキストの変遷<br>— 初版以前からディズニー映画まで —                 |
| 津村 明日香 | ディズニーマジックにかかったグリム童話                                |
| 手島 開   | 児童文学 „Damals war es Friedrich “から見るナチ時<br>代のドイツ    |
| 西岡 葵   | ドイツにおける歴史的景観と観光の関わりについて                            |
| 野上 綾乃  | グリム童話絵本の2人の挿絵画家の比較と功績                              |
| 福田 奈津実 | 戦争責任に関するドイツの戦略と心理的葛藤の変遷                            |
| 藤城 左和子 | クライストによる散文の文体について<br>— 副文の観点から —                   |
| 光山 征允子 | 複合動詞について<br>— 非分離前綴りを中心に —                         |
| 宅間 奈央  | ワークライフバランスの概念と実践<br>— 日本とドイツの比較研究 —                |
| 東 道子   | フランツ・カフカ『判決』から見える葛藤                                |

# 関西大学独逸文学会記録

(2015年1月～12月)

## 2015年度総会および第108回研究発表会

日時：2015年11月14日（土）13時00分～17時30分

場所：関西大学（千里山）第1学舎5号館 E503教室

○研究発表会

### 【ゼミ発表】

（学会として初めての試み。学部3年生によるもので、司会は本学教授・工藤康弘）

1. 松本祐果、向井渚、柳麗菜  
メルヒェンの比較研究  
——「千匹皮」
2. 中野紗保里  
ドイツの戦争責任について
3. 近田りか、永沼琴子、福江祐衣  
冠飾句の英語訳は可能か  
——H.v. クライスト『決闘』の場合——
4. 福地祥子  
ドイツの Urlaub について

### 【研究発表】

1. 米村恵吾（大学院博士後期在学）  
ドイツ・トルコ系移民文学研究の歴史  
司会 Robert F. Wittkamp（本学教授）
2. 金城ハウプトマン朱美（ドイツ語圏口承文芸研究家）  
日独における安楽死問題の先駆者  
——森鷗外とマルティン・メンデルゾーン  
司会 宇佐美幸彦（本学教授）

【講演】

Andreas Hartmann (招聘研究者、ミュンスター大学教授)

Die Magie der Zunge. Geschmack, Gedächtnis und Kultur

通訳 金城ハウプトマン朱美

○総会

- 1) 会長挨拶 宇佐美 幸彦
- 2) 編集報告 芝田 豊彦
- 3) 会計報告 工藤 康弘
- 4) 審議事項 芝田豊彦氏に次期会長(2016年4月～2018年3月)をしていただくことが提議され、承認された。また会則第8条の会費において、2015年4月1日付で、以下の下線部のように変更することが提議され、承認された。「大学院生を含む学生会員(=会費区分C)は500円。(…)会費滞納は3年で会員の資格を失う。」